

永遠のいのちの交わりの中で

主任司祭 吉池 好高

イエス・キリストの復活を信じる信仰に結ばれてささげられるミサの特徴は、この世の生を終えて旅立った死者たちが天のふるさとに迎え入れられることを願う祈りにも表れています。

「復活の希望をもって眠りについたわたしたちの兄弟とすべての死者を心に留め、あなたの光の中に受け入れてください」（第二奉献文、死者の記念）このように祈ることによってわたしたちはキリスト教の信仰の本質を表明しているのです。いつか、わたしたちも死を迎えるとき、この祈りがわたしたちを支えるものとなることを願わずにはられません。自分ではもはや祈ることができなくなるとしても、この世の生を終えたわたしのために、教会はミサにおいてわたしたちのためにこのように祈り続けてくれるのです。死の闇を超えていのちの源である神の光の中に迎え入れていただけるように、この世を終えたわたしたちのためにミサをささげ続けてくれるのです。これほど心強いことはありません。今はまだこの世に生きるわたしたちは、このような希望のうちに死者たちのために祈るのです。それだけではありません。イエス・キリストの復活によって開かれた永遠のいのちの展望に立ってミサをささげるわたしたちは、わたしたちに先立って永遠のいのちへと旅立った死者たちとともに、いのちの与え主である神への賛美と感謝をささげるのです。永遠の神の計らいによって、この世の生における絆に結ばれて生きた忘れることの出来ない人々、忘れてはならない人々とともに、感謝の祭儀であるミサをささげるのです。ミサはこの世の生を越えたいのちの交わりを指し示す大いなる交わりの祭儀です。そのいのちの交わりの中で、わたしたちに先立って永遠のいのちに向けて旅立った方々は、この世の生の中に生きるわたしたちのために神の御前でとりなしの祈りをささげてくださるのです。こうしてこの世においてわたしたちがささげるミサは天において神の永遠のいのちに与かっている人々の永遠の感謝の歌声に結ばれているのです。この世の生活に疲れ、心弱くなって気落ちするとき、わたしたちを励ます天の歌声を聞きましょう。